

1 単元名 表現を味わおう「走れメロス」

2 単元の目標

- 進んで文章を読み、課題について話し合ったり、自分の読み取ったことをまとめたりしようとする。  
(国語への関心・意欲・態度)
- 人物描写、情景描写、会話文、心のつぶやきなどの根拠から、文章の内容や表現の仕方、書き手の意図について自分の考えをまとめることができる。  
(読む能力)
- 文学的な文章には、様々な表現技法があることを理解するとともに、それらが表す意味に注意できる。  
(言語についての知識・理解・技能)

3 単元について

(1) 教材観

本教材「走れメロス」は、太宰治の代表的な作品であり、登場人物の内面の葛藤や苦悩、変容などが、工夫された様々な表現で生き生きと描かれている。そして、生徒は、メロスと王、二人の魅力ある登場人物の姿を通して、作品世界に入っていくことになる。そのときに、作品の中心的人物として描かれている、メロスと王のどちらが主人公としてふさわしいのかを考えながら読むことで、作品に対する理解が更に深まると考える。個性豊かに描かれた登場人物に迫り、どちらが主人公にふさわしいのか考えるために、会話文、人物描写、情景描写、心のつぶやきなどの表現に注意して読んでいく。その表現から根拠を明確にし自分の考えをもちながら読むことで、文章の内容や表現の仕方に注意して読むことができると考える。

(2) 生徒観

本学級の生徒の実態調査（平成23年9月15日、第2学年1組27人）では、「文章の内容や表現の仕方に注意して読む」ことについて、文章の内容について根拠を明確にして自分の考えをもつことができた生徒は12人であった。しかし、表現の仕方や書き手の意図について根拠を明確にして自分の考えをもつことができた生徒は1人もいなかった。このことは、これまでの国語科の学習において、表現の仕方や書き手の意図について、根拠を明確にして自分の考えをもつような手立てが不足していたためと考える。

(3) 指導観

本単元の指導過程にあたっては、読解マップを活用した活動を通して、文章の内容と表現の仕方について、自分の考えをもちながら読む学習を展開する。まず、文章中の根拠に目を向けられるように、『走れメロス』の主人公は一体誰か。』を共通の学習課題として提示する。次に、時・人・場所・出来事を中心に作品設定をしっかり捉える。そして、自分が主人公と考える登場人物の根拠を見付け、同じ立場の生徒同士協力して付箋に書き、読解マップに貼っていく。グループで話し合い、集められた根拠を主人公と考えるのにより適切なものとそうでないものに分け、自分の考えを支える根拠を選べるようにする。それから、その根拠をもとに、なぜその登場人物を自分は主人公と考えるのかをまとめるようにする。さらに、討論会を通して様々な考え方や根拠に触れ、自分の考えや自分の考えを支える根拠と比べていく。最後に、「主人公は一体誰か。」という題でまとめの作文を書き、自分の考えを見つめ直していく。このように、単元を通して読解マップを活用した学習を展開し、根拠を明確にし自分の考えをもちながら読むことで、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力を身に付けさせたいと考えている。

4 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	エ 読む能力	オ 言語についての知識・理解・技能
<p>・進んで文章を読み、課題に対する自分の考えを述べたり、自分の考えをまとめたりしようとする。</p>	<p>・「人物描写」、「情景描写」、「会話文」、「心のつぶやき」、「様子・姿・表情」などの根拠を明確にし、文章の内容や表現の仕方に、書き手の意図について自分の考えをまとめている。</p>	<p>・人物描写や情景描写などの表現技法を理解するとともに、それらが表す意味に注意して読んでいる。</p>

5 指導計画（6時間扱い）

時	学習活動・内容	指導上の留意点（※は評価）						
1	<p>1 本時の学習課題をつかむ。  <u>全文を読んで、作品設定をしっかりと捉えよう。</u></p> <p>2 範読を聞く。            3 作品設定を捉える。</p> <p><b>【作品設定】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p><b>（冒頭）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時…夜</li> <li>・場…シラクスの町・王城</li> <li>・人…メロス、王、セリヌンティウス</li> <li>・出来事…セリヌンティウスを人質とし、3日間で戻ると王と約束する。</li> </ul> </td> <td style="width: 33%; text-align: center; vertical-align: middle;">→</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p><b>（途中）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メロスが困難に立ち向かう。</li> <li>・疲労で挫折する。</li> <li>・水の音…復活</li> <li>・また、走る。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">→</td> <td style="padding: 5px;"> <p><b>（結末）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時…日暮れ～夜</li> <li>・場…刑場</li> <li>・人…メロス、王、セリヌンティウス</li> <li>・出来事…メロスが戻り、王が改心した。</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p><b>（冒頭）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時…夜</li> <li>・場…シラクスの町・王城</li> <li>・人…メロス、王、セリヌンティウス</li> <li>・出来事…セリヌンティウスを人質とし、3日間で戻ると王と約束する。</li> </ul>	→	<p><b>（途中）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メロスが困難に立ち向かう。</li> <li>・疲労で挫折する。</li> <li>・水の音…復活</li> <li>・また、走る。</li> </ul>		→	<p><b>（結末）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時…日暮れ～夜</li> <li>・場…刑場</li> <li>・人…メロス、王、セリヌンティウス</li> <li>・出来事…メロスが戻り、王が改心した。</li> </ul>	<p>○時、人、場所、出来事をしっかりと捉えることで、作品設定が理解できるようにする。</p> <p>○教師の範読を聞くときには、「時」、「場所」、「人」、「出来事」の四つを意識して聞くようにする。</p> <p>○大体の作品設定が理解できるように、構造的に板書をする。</p> <p>※作品設定を捉えるために、意欲的に文章を読もうとしている。（観察・ノート）</p>
<p><b>（冒頭）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時…夜</li> <li>・場…シラクスの町・王城</li> <li>・人…メロス、王、セリヌンティウス</li> <li>・出来事…セリヌンティウスを人質とし、3日間で戻ると王と約束する。</li> </ul>	→	<p><b>（途中）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メロスが困難に立ち向かう。</li> <li>・疲労で挫折する。</li> <li>・水の音…復活</li> <li>・また、走る。</li> </ul>						
	→	<p><b>（結末）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時…日暮れ～夜</li> <li>・場…刑場</li> <li>・人…メロス、王、セリヌンティウス</li> <li>・出来事…メロスが戻り、王が改心した。</li> </ul>						
2	<p>1 本時の学習課題をつかむ。  <u>主人公候補「メロス」と「王」の変容を捉えよう。</u></p> <p>2 一人一人が考える主人公を確認する。            3 自分が選んだ登場人物の冒頭と結末の変化を捉える。            4 冒頭と結末でのメロスと王の変容を学級全体で確認する。            5 次時の確認をする。</p>	<p>○単元の最後に『「走れメロス」の主人公は一体誰か。』という共通の学習課題で討論会を行うことを伝え、学習の見通しがもてるようにする。</p> <p>○前時で行った作品設定を再確認し、一人一人が主人公を決定する手掛かりとする。</p> <p>○会話文や行動描写などの観点から、根拠を見付けるよう助言する。</p> <p>※根拠を明確にして、登場人物の変容とそのきっかけを捉えている。（観察・ノート）</p> <p>○次時は、同じ主人公候補を選んだ生徒同士でグループを作り、観点別に根拠を集める学習をすることを伝え、次時への意欲がもてるようにする。</p>						
3	<p>1 本時の学習課題をつかむ。  <u>自分の選んだ登場人物が、主人公である根拠を集めよう。</u></p> <p>2 学級全体で、根拠を集めるときの観点を確認する。            3 グループで協力して、根拠を観点別で付箋に書き、グループ用読解マップに貼っていく。            4 次時の確認をする。</p>	<p>○適切に根拠を集めるために、五つの観点を再確認する。</p> <p>○観点ごとの根拠を手際よく探すために、グループで観点ごとに分担を決めるようにする。</p> <p>○他の生徒が、後で教科書から根拠を確認しやすくするために、付箋にはページ数と行数を記入するようにする。</p> <p>○自分の分担が終わった時は、他の観点から根拠を探すようにする。</p> <p>※自分の分担している観점에서、根拠を付箋に抜き出すことができている。（観察・付箋・ワークシート）</p> <p>○次時では、この集めた根拠を基に、「なぜ、その登場人物を主人公と考えるのか。」、簡潔に自分の考えをまとめることを伝え、次時への意欲がもてるようにする。</p>						
4 (本時)	<p>1 本時の学習課題をつかむ。  <u>主人公としてより適切な根拠を選び、自分の考えをまとめよう。</u></p> <p>2 自分の考えをまとめるときのより適切な根拠を選ぶ。            3 選んだ根拠から、文章の内容</p>	<p>○簡潔に自分の考えをまとめるために、選んだ観点と根拠を記述し、自分の考えをまとめられる欄を設けた個人用読解マップを用意する。</p> <p>○主人公としてふさわしい理由がはっきり分かるように、自分の考えを必ずまとめるようにする。</p> <p>○自分の意見に説得力をもたせるために、表現の仕方や書き手の意図についても考えてみるように声掛け</p>						

共通課題「『走れメロス』の主人公は一体誰か。」

	<p>・表現の仕方・書き手の意図など、簡潔にまとめる。</p> <p>4 次時の確認をする。</p>	<p>をしていく。</p> <p>○簡単にでも自分の考えがもてるように、机間指導を充実させ個別に対応していく。</p> <p>※登場人物の変容，人物描写，情景描写，会話文，心のつぶやきなどからより適切な根拠を選び自分の考えをまとめている。（観察・ワークシート）</p>
5	<p>共通課題「『走れメロス』の主人公は一体誰か。」</p> <p>1 本時の学習課題をつかむ。 「『走れメロス』の主人公は一体誰か，討論会をしよう。」</p> <p>2 討論会の仕方と流れを確認する。</p> <p>3 メロス派と王派に分かれて討論会を行う。</p> <p>4 学習の振り返りを行う。</p>	<p>○建設的な話合いにするために，ルールを全体で共有する。</p> <p>○討論会の時には，反対の立場の友達の意見を読解マップのメモ欄に記録していく。</p> <p>○話合いを通して，自分の考え方や見方が変わった理由，変わらなかった理由，また相手の読みの観点はどうかなどのポイントで振り返りをするようにする。</p> <p>※文章の内容や表現の仕方，書き手の意図など，根拠を明確にして自分の考えを伝えようと活動しようとしている。（観察・ワークシート）</p>
6	<p>1 本時の学習課題をつかむ。 「『走れメロス』の主人公は一体誰か。」という題で，自分の考えをまとめよう。</p> <p>2 自分の考えのまとめ方を確認する。</p> <p>3 自分の考えを原稿用紙にまとめる。</p> <p>4 学習のまとめを行う。</p>	<p>○読解マップのメモや討論会時の意見交換を参考に，自分の考えをまとめる。</p> <p>○なかなか書けない生徒には，取り上げる根拠と自分の考えを一つ，二つに絞って書くよう助言する。</p> <p>※読解マップに記された根拠と自分の考え，討論会でのメモなどを参考にしながら，意見文として自分の考えをまとめている。（ワークシート）</p>

6 本時の学習（第4時）

(1) 目標

○人物描写、情景描写、会話文、心のつぶやきなどの観点からより適切な根拠を選んでいくことを通して、自分の考えをまとめることができる。（読む能力）

(2) 準備・資料

○読解マップ（個人用読解マップ書き方例、グループ用読解マップ、個人用読解マップ）、付箋

(3) 展開

学習活動及び内容	指導上の留意点（◎は個への対応）
<p>1 本時の学習課題と学習の進め方を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>主人公としてより適切な根拠を選び、自分の考えをまとめよう。</p> </div> <p>2 グループ用読解マップで集めた根拠が適切かどうか話し合い、より適切な根拠を見付け出す。</p> <p>（王の立場の場合）</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>3 選択した根拠から、文章の内容や表現の仕方、書き手の意図など、個人用読解マップに自分の考えをまとめる。</p> <p>（王の立場の場合）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は〇〇が主人公だと思う。</li> <li>・まず～</li> <li>・確かに～</li> <li>・でも～</li> <li>・だから、私は〇〇が主人公だと思う。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>私は王が主人公だと思う。</p> <p>まず、「平和を望んでいるのだが。」と「おまえらの仲間にしてほしい。」という言葉のセットだ。この言葉からも分かるように、王はメロス以上に苦しんでいて、そして最後に大きく変わったことが分かる。</p> <p>確かに、メロスも大きな困難を乗り越えることで成長し、主人公候補といえるだろう。</p> <p>でも、表情の変化を見ても、「蒼白」から「赤」へ変化している。これは、今までの自分の考え方に恥ずかしさを抱いたからだといえる。だから、私は王が主人公だと思う。</p> </div> <p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○ グループ編成に当たっては、同じ主人公を選んだ生徒同士で編成し、座席もグループ単位とする。</p> <p>○ まず、グループ用読解マップで集めた根拠から、より適切なものとそうでないものに分ける話し合いをし、そこから自分で根拠を選び、自分の考えをまとめていくことを伝え、学習の見通しがもてるようにする。</p> <p>○ 自分の考えがはっきりと伝わるために、根拠は三つ以上選択することを伝える。</p> <p>○ 生徒が抵抗なく自分の考えを書くために、根拠は同じ観点から選択してもよいことを伝える。</p> <p>○ 妥当性のある根拠を選択するために、グループで話し合い、根拠全部からより適切なものとそうでないものに分けるように助言する。</p> <p>○ 生徒がスムーズに選択しやすいように、個人用読解マップには、根拠の中のキーワードや部分などを記入するようにする。</p> <p>○ 主人公であると強く言える根拠を、具体例を示しながら、自分の判断で選ぶようにする。</p> <p>◎ なかなか根拠を選択できない生徒には、考えやすい会話文を選択するよう助言する。</p> <p>○ 自分の考えをまとめる際に、主人公としてふさわしい理由がはっきり分かるようにする。その時、選んだ観点とともに、人物の変容から分かることも取り入れるようにする。</p> <p>○ 立場を明確にして書くために、書き出しは「私は～だ。」という意見から述べるようにする。</p> <p>○ 自分の主張ばかりではなく、相手の立場も入れると効果的なことを伝え、最後にもう一度自分の考えに戻るようにする。</p> <p>○ 自分の考えをまとめる時に、「まず」「次に」「そして」「また」「なぜなら」などの言葉を使い、根拠をつなげたり、自分の考えを述べたりするようにする。</p> <p>◎ なかなか自分の考えが書けない生徒には、具体的な表現から登場人物の何が分かるのか、また、どのようなイメージをもつかなど、問いかけるようにする。</p> <p>◎ 根拠から人物の気持ちや考えを読み取ることができた生徒には、なぜその登場人物が主人公であるのか、その理由をまとめていくように助言する。</p> <p>◎ 根拠から自分の考えや理由までまとめられている生徒には、表現の仕方や書き手がその根拠となる表現を入れた理由まで考えてまとめてみるように助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>人物描写、情景描写、会話文、心のつぶやきなどからより適切な根拠を選び自分の考えをまとめている。（観察・ワークシート）</p> </div> <p>○ 根拠をより明確にした考えを書き表している生徒を意図的に指名し、他の生徒が根拠を見つけ出す手掛かりとする。</p>

心のつ  
ぶやき

様子・  
姿・表情

情景  
描写

「走れメロス」の主人公は…一体…誰だ？ グループ用

主人公は【       】だ！

行動  
描写

会話文

「走れメロス」の主人公は…一体…誰だ？ 個人用

登場人物の変容（冒頭と結末を比べる）

【冒頭】

【きっかけ】

【結末】

